

企業会計基準委員会の審議状況

(2011年5月～2011年7月)

研究員 おきもと しげき
沖本 茂揮

平成23年5月から平成23年7月までに、第224回から第229回の計6回の企業会計基準委員会を開催しています。審議事項等は以下のとおりです。それぞれの内容につきましては、企業会計基準委員会ホームページ (<http://www.asb.or.jp/>) で「議事概要」、「議事要旨」(会員限定)及びWebcastを公開しておりますので、そちらをご覧ください。

第224回 企業会計基準委員会 平成23年5月19日(木) 13時35分～16時45分

(審議事項)

(1) 企業結合専門委員会における検討状況について

都常勤委員及び前田専門研究員より、のれんの償却に係る論点について説明がなされ、議論を深めるべきと考えられる事項について、前回委員会での意見を踏まえた新たなディスカッション・ポイントを中心に審議が行われた。

(2) 無形資産に関する検討について

新井副委員長及び矢島研究員より、開発費の資産計上に係る論点について説明がなされ、議論を深めるべきと考えられる事項及び仮に連結先行とする場合の派生論点を中心に審議が行われた。

(3) 金融商品専門委員会における検討状況(分類・測定)について

加藤副委員長及び板橋専門研究員より、金融商品専門委員会における検討状況についての報告と昨年8月に公表された「金融商品会計基準(金融資産の分類及び測定)の見直しに関する検討状況の整理」に対するコメント及び一部コメントへの対応案についての説明がなされ、審議が行われた。

第225回 企業会計基準委員会 平成23年6月2日(木) 13時30分～16時45分

(審議事項)

(1) 無形資産に関する検討について

新井副委員長及び矢島研究員より、開発費の資産計上に係る論点について説明がなされ、今後の方向性として考えられる対応案及び仮に連結先行とする場合の追加論点を中心に審議が行われた。

(2) 企業結合専門委員会における検討状況について

都常勤委員及び前田専門研究員より、のれんの償却に係る論点について説明がなされ、前回委員会での意見を踏まえた、考えられる2つの対応案を中心に審議が行われた。

(3) 退職給付専門委員会における検討状況について

都常勤委員及び前田専門研究員より、未認識項目の負債計上の単体財務諸表適用に係る論点について説明がなされ、一定の対応の必要性の要否を中心に審議が行われた。

(報告事項)

(1) IASB 会議報告

山田 IASB 理事より、最近の IASB 会議の検討状況について報告がなされた。

第 226 回 企業会計基準委員会 平成 23 年 6 月 16 日 (木) 13 時 30 分～16 時 25 分

(審議事項)

(1) 無形資産に関する検討について

新井副委員長及び矢島研究員より、開発費以外の自己創設無形資産に係る論点について説明がなされ、今後の取扱い及び無形資産に関する会計基準の体系を中心に審議が行われた。

(2) 退職給付専門委員会における検討状況について

都常勤委員及び前田専門研究員より、未認識項目の負債計上の単体財務諸表適用に係る論点について説明がなされ、一定の対応の必要性の要否を中心に審議が行われた。

(3) 金融商品専門委員会における検討状況 (公正価値) について

加藤副委員長及び丸岡専門研究員より、公開草案に対して寄せられたコメントへの対応に関する専門委員会での検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

(4) 金融商品専門委員会における検討状況 (金融負債) について

加藤副委員長及び関口専門研究員より、本年 2 月に公表した「金融商品会計基準 (金融負債の分類及び測定) の見直しに関する検討状況の整理」に寄せられたコメントについて説明がなされ、審議が行われた。

(5) 特別目的会社専門委員会における検討状況について

新井副委員長及び吉岡研究員より、本年 5 月に IASB より公表された IFRS 第 10 号「連結財務諸表」等の概要及び日本基準との相違について説明がなされ、審議が行われた。

第 227 回 企業会計基準委員会 平成 23 年 6 月 30 日 (木) 13 時 00 分～14 時 55 分

(審議事項)

(1) 無形資産に関する検討について

新井副委員長及び矢島研究員より、開発費の取扱いに関して、資産計上を連結先行する場合、連結先行を容認する場合、継続検討を行う場合それぞれの無形資産に関する会計基準 (イメージ

案)及びソフトウェアに関する会計基準(イメージ案)について説明がなされ、審議が行われた。

(2) 退職給付専門委員会における検討状況について

都常勤委員及び前田専門研究員より、退職給付に関する会計基準及び同適用指針の適用時期について説明がなされ、審議が行われた。

(3) 金融商品専門委員会における検討状況(公正価値)について

加藤副委員長及び丸岡専門研究員より、公開草案に対して寄せられたコメントへの対応に関する専門委員会での検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

(4) 金融商品専門委員会における検討状況(金融資産)について

加藤副委員長及び板橋専門研究員より、昨年8月に公表された「金融商品会計基準(金融資産の分類及び測定)の見直しに関する検討状況の整理」に対するコメント及びコメントへの対応案についての説明がなされ、審議が行われた。

(5) 専門委員の選退任について

新井副委員長より、専門委員の選退任について説明がなされ、承認された。

第228回 企業会計基準委員会 平成23年7月14日(木) 13時40分～15時30分

(審議事項)

(1) 収益認識に係る会計基準の検討について

都常勤委員及び西村専門研究員より、IASB及びFASBの両審議会において、昨年6月に公表されたED「顧客との契約から生じる収益」に寄せられたコメントを受けて、再検討が行われてきた旨及びEDからの変更点について説明がなされ、審議が行われた。

(2) 金融商品専門委員会における検討状況(金融負債)について

加藤副委員長及び関口専門研究員より、平成23年2月に公表した「金融商品会計基準(金融負債の分類及び測定)の見直しに関する検討状況の整理」に寄せられたコメントへの対応(案)について説明がなされ、審議が行われた。

(3) 金融商品に係るIASB及びFASBでの検討状況について

加藤副委員長及び高橋専門研究員より、金融商品の分類及び測定を巡るFASBの審議状況について説明がなされ、審議が行われた。その後、加藤副委員長及び神谷専門研究員より、減損についてのIASB及びFASBにおける検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

第229回 企業会計基準委員会 平成23年7月29日(金) 13時30分～15時35分

冒頭、西川委員長より、プロジェクト計画表については、今後、国際動向や市場関係者の意見も踏まえ、適切な時期に改めて公表を行うこととし、ASBJのホームページにあるプロジェクト計画表はいったん表示しないこととする旨の説明がなされ、承認された。

(審議事項)

(1) **金融商品専門委員会における検討状況について**

加藤副委員長及び板橋専門研究員より、昨年8月に公表された「金融商品会計基準（金融資産の分類及び測定）の見直しに関する検討状況の整理」に対するコメントへの対応案についての説明がなされ、審議が行われた。

(2) **特別目的会社専門委員会における検討状況について**

新井副委員長及び吉岡研究員より、我が国の会計基準とIFRS第10号「連結財務諸表」の差異に係る特別目的会社専門委員会における検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

(3) **無形資産に関する検討（耐用年数の確定できない無形資産の減損）について**

新井副委員長及び紀太専門研究員より、耐用年数を確定できない無形資産に関する減損会計の適用に係る追加検討について説明がなされ、審議が行われた。

(4) **専門委員の選退任について**

新井副委員長より、専門委員の選退任について説明がなされ、承認された。

（報告事項）

(1) **IFRS財団戦略レビュー報告書に対するコメント**

資料の配布をもって報告するものとされた。